

【 臨床研究に関する情報の公開 】

ペプチド受容体放射性核種療法（PRRT：神経内分泌腫瘍）で当院を受診された患者さまの
試料・情報を用いたご協力のお願について

項 目	内 容
1. 研究課題名	PRRT（ペプチド受容体放射性核種療法）後に出現した有害事象についての報告
2. 研究の対象者	2021年 10月 6日から 2022年 3月 31日の間に、当院の放射線科において PRRT（ペプチド受容体放射性核種療法）を治療を受けられた方
3. 研究期間	2022年 4月 2日 ～ 2027年 3月 31日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施箇所： 関西電力病院 放射線科 研究責任者・発表者： 看護部 服部悦子 共同研究者： 中山美紀、高井剛、長野圭司、黒岩勇人、多代尚広 大田和美、板垣康、岡田務、柳原一広・河本泉
5. 本研究の意義・目的	PRRT（ペプチド受容体放射性核種療法）が本邦初導入となり、治験の情報を元に有害事象（副作用）の出現を予測して医療の提供を行っています。当院において、治療中・治療後に新たに明らかになった症状の出現について明らかにすることで、今後、全ての PRRTを受ける患者さまに安全・安楽な医療の提供ができる様にするを目的としています。
6. 研究の方法	カルテより情報収集し、PRRT実施により出現した症状について調べます
7. 研究に用いる試料・情報の種類	患者さまの年齢・性別・病名・進行度・血液検査データ・画像検査データ・PRRT実施中、実施後、退院後の症状出現の状況について情報収集します。
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	情報管理担当者が研究用パソコン内にデータとして保管し、施錠可能なデスクにおいて保管管理します。 廃棄については、研究発表後、5年間保管し、データ廃棄の際は、複数名で完全にデータを消去したことを確認します。
9. 個人情報の保護について	情報収集には、診療IDや患者識別コード等を用いることで匿名化されています。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者へ知られたりすることはありません。研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 看護部 服部悦子
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 放射線科看護師 服部悦子 電話：06-6458-5821（代表）